

JPEC World Report

米州 2026 年 6 月版

概 況

- ◆ 5 月 25 日、原油価格が下落した。北海ブレント先物は一時 6.2%下落し、97.10 ドル/バレルを付けた。また、WTI 先物は、同 91 ドル近辺で推移した。トランプ大統領は前日（24 日）、「交渉は秩序立って建設的に進んでいる」と SNS に投稿する一方で、「合意を急ぐ考えはないとし、ホルムズ海峡の封鎖は合意完了まで維持する」と付け加えていた。米政府高官は、双方が最終的な承認を得るまでには、数日を要する可能性があるとした。
- ◆ 米国・イラン双方は、停戦やホルムズ海峡再開の枠組みでは、5 月中を通じて、大きな隔たりは克服できなかった。
- ◆ 6 月第 2 週は、NYMEX では原油価格が続落した後、米国とイランの合意が近いとの観測で金は反発したが、第 3 週には G7 サミット（15～17 日フランス・エビアン）と併せ、米国とイランの戦闘終結を巡る合意があり、中東情勢悪化への警戒が薄れ、需給の引き締め感が後退する展開がみられた。米国・イランは、19 日にジュネーブで署名を行ったが、成果への期待と先行きへの警戒が相半ばした。
- ◆ 以上の展開の中で、エネルギー省（DOE）エネルギー情報局（EIA）は、6 月 9 日、短期エネルギー展望を発表した。同展望は、予測の前提として、ホルムズ海峡は当面実質的に閉鎖されたままであると想定しつつも、同海峡を通航する石油輸送は 2026 年第 3 四半期に再開される可能性はあると見られる一方、戦争前の輸送量に戻るには数か月を要し、2027 年初頭まで見込まれないと見ている。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

[続きを読む](#)

◆ [情報提供サービスのお申込みはこちら >](#)

◆ [賛助会員については、こちらからお問い合わせください >](#)